

当機構主要出版物

1 続・不動産取引紛争事例集

一、五〇〇円（本体一、四五七円）

左記2の前編とともに紛争が多発しているテーマごとに法律的総論をまとめているほか、典型的な紛争事例について、概要、事実関係、解決結果、論評を簡潔にまとめたもの。

テーマ①媒介契約と媒介報酬請求権

②広告 ③現状有姿販売

④物の瑕疵 ⑤マンション分譲

2 不動産取引紛争事例集

一、五〇〇円（本体一、四五七円）

テーマ①重要事項の説明義務

②ローン特約

③交渉預り金、申込み証拠金

④履行の着手 ⑤買替え・下取り

3 宅地建物取引判例の要点

一、二〇〇円（本体一、一六四円）

宅建業者が当事者になっている一〇二の判例について、判例の要旨、事件の概要、争点、判旨について簡潔にまとめたもの。

4 実務に役立つ不動産仲介の法律知識

一、四四二円（本体一、四〇〇円）

編著 当機構 発行 ㈱住宅新報社

5 標準売買契約書（媒介用）の解説

土地・土地付き建物・借地権付き建物・マン

ションの売買（媒介用）の標準的な契約書とその解説

八〇〇円（本体七七七円）

編著 当機構

6 土地・建物の不具合

一、三六九円（本体二、三〇〇円）

編著 当機構 発行 ㈱東洋書店

7 改訂版 不動産取引用語辞典

二、〇〇〇円（本体一、九四二円）

監修 建設省建設経済局不動産業課

編著 ㈱不動産流通近代化センター

発行 当機構 ㈱住宅新報社

8 借地借家法改正要綱試案について

五〇〇円（本体四八六円）

加藤 一郎 当機構会長

法務省法制審議会民法部会の了承を得て発表された標題試案について、改正のポイントを、部会長である加藤先生が分かりやすく説明されたもの。

9 争いを避けるための契約書

七〇〇円（本体六八〇円）

飯原 一乗 弁護士講演録。講演の記録に判例・法律の条文等を加え理解の便を図ったもの。契約書のなかで問題の多い手付・ローン・買換え・瑕疵担保等の条項を中心に分かりやすく解説している。

10 不動産取引紛争事例集の基本思想と業界のあり方

五〇〇円（本体四八六円）

東京大学法学部平井宜雄教授講演録。既に相当説まれている事例集をより有効的確に活用するために有用な小冊子。不動産取引の法律論にも触れている。

11 都道府県の窓口における 不動産取引紛争事例要旨集（昭和六十二年度）

八〇〇円（本体七七七円）

昭和六十二年度において、主要都道府県の相談窓口で受け付けた紛争事例を要約し、分類整理したもの。一部は、解決結果も掲載されている。

〔お申込み先〕

No.1・2・3・5・8・9・10・11は当機構

まで

No.4・7は㈱住宅新報社

（TEL03-502-4151）まで

No.6は㈱東洋書店

（TEL03-269-2961）まで

平成二年二月二十八日	印刷
平成二年三月 二日	発行
発行	㈱不動産適正取引推進機構
〒105 東京都港区虎ノ門二丁目八十一	
(第三十三森ビル3F)	
TEL 〇三(四三三)八二二一代	
編著責任者 川合 宏之	
編集責任者 東 喜代司	
印刷 ㈱住宅新報社	
印刷 ㈱ナショナルプレス	